

《担当者名》金澤 潤一郎 (j16-kana@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

福祉心理学は臨床心理学に含まれる領域と福祉・医療・司法などの制度や専門職と関わる領域である。この講義では、福祉心理学に含まれる理論や支援法を概観すると共に、公認心理師が接する福祉・医療・司法の領域での実践についても基礎的な理論や考え方を学ぶ。

【学修目標】

発達障がい臨床での主要な支援方法を学ぶ。
 発達障がい臨床の周辺領域（保護者支援や就学準備）について学ぶ。
 福祉領域の法律と共に公認心理師としての活動に必要な制度を学ぶ。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|---------------------|--|--------|
| 1 | 障害って何？ | 障害の考え方、合理的配慮、精神障害者スポーツ | 金澤 潤一郎 |
| 2 | 主な自閉スペクトラム症への支援方法 | 機軸反応治療プログラム UCLA幼児自閉症プロジェクト 発達・個人差・関係を基盤にしたプログラム | 金澤 潤一郎 |
| 3 | 主な自閉スペクトラム症への支援方法 | TEACCHの理論と実際 | 金澤 潤一郎 |
| 4 | 多様な場面での応用行動分析の応用 | 応用行動分析を用いた療育、高齢者支援 | 金澤 潤一郎 |
| 5 | 福祉、司法領域との連携 | 応用行動分析を福祉や司法領域で活用するための理論やアセスメント | 金澤 潤一郎 |
| 6 | 障害と社会 | 障害者白書から社会を考える | 金澤 潤一郎 |
| 7 | 就学準備 | 就学準備の実際、特別支援教育 | 金澤 潤一郎 |
| 8 | 保護者支援 | 発達障がい児・者を育てる保護者支援の実際 | 金澤 潤一郎 |
| 9 | 福祉領域で問題となりやすい怒りへの対応 | 怒りの理論や支援に役立つ考え方を学ぶ | 金澤 潤一郎 |
| 10 | 大人の発達障がい | 大人の発達障がいへの支援に必要な理論、ワークを踏まえた練習 | 金澤 潤一郎 |
| 11 | 親子相互交流療法（PCIT） | 5つのDoスキルと3つのDo notスキル | 金澤 潤一郎 |
| 12 | 親子相互交流療法（PCIT） | PCITを子育てに応用するには | 金澤 潤一郎 |
| 13 | 福祉領域の法律 | 障害者総合支援法 | 金澤 潤一郎 |
| 14 | 児童福祉と虐待、DV | 児童デイサービス、児童福祉法、虐待やDVの理論と対応 | 金澤 潤一郎 |
| 15 | 愛着、社会的養護 | 社会的養護、里親制度 | 金澤 潤一郎 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末テスト（80%）、授業後の小レポート（20%）によって評価する。

【教科書】

特に使用しない。適宜、資料を配布する。

【学修の準備】

福祉領域のニュースに目を通す。公認心理師の「福祉の心理学」に関する参考書等を読む。

【ディプロマ・ポリシーとの関連】

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

DP3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究・社会的貢献の成果を反映させた講義内容となっている。